

## 令和元年度業務実績に関する評価書（事務局案）に対する意見

## 全体評価への意見（中村委員長）

大項目(8区分)毎の事業単位と指標単位の5段階の評価レベルへの該当項目数分布 <令和元年度業務実績>									
大項目(8区分)	評価結果	単位分類	評価s	評価a	評価b	評価c	評価d	項目数	
			優れて順調	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ		
教育研究の質向上の目標									
1)教育に関する目標	A	事業単位 指標単位	1	10 4	28			39 4	
2)研究に関する目標	A	事業単位 指標単位		1 2	12			13 2	
3)地域貢献に関する目標	A	事業単位 指標単位	1	6 3	7			14 3	
4)国際交流に関する目標	A	事業単位		1	3			4	
5)業務運営の改善・効率化に関する目標	B	事業単位			10			10	
6)財務内容の改善に関する目標	A	事業単位		1	7			8	
7)自己点検・評価、情報公開推進に関する目標	A	事業単位		2	3			5	
8)その他業務運営に関する目標	B	事業単位			9			9	

- 大項目8区分全体を通して評価結果の根拠を概観すると、事業単位の評価に対し、指標単位の評価を重視していること、評価a, bの該当項目数割合を見ると評価bの該当項目数が優位であっても評価s, aの該当項目が特筆すべき内容を含む場合には総合評価をAとすることも可としている。
- ただし、「財務内容の改善に関する目標」については評価aを得た「(様々な取り組みによる)学生応募における高い志願倍率の維持」をもってこの「財務内容の改善に関する目標」全体の評価をAランクとできるか慎重な検討を要すると思われる。

## 大項目別評価（8区分の評価）への意見（中村委員長）

- 4. 国際交流に関する目標を達成するための措置（9頁）の4項目のうち、3項目でb評価、1項目でa評価であったが、この大項目の区分ではA評価としている。その根拠として、大学としての国際交流活動のうち学部そして大学院の留学生の受け入れが順調に進むことは、次期中期目標期間への期待としても特筆すべき成果と明記しても良いように思われる。

## 評価書案全体への意見（山崎委員）

- 適正

## 評価書案全体への意見（草間委員）

- 全体的にはよろしいと思います。
- クロス学習の成果や問題解決能力のさらなる取得を期待しています。
- 教員顕彰制度が今後どのように教員のモチベーションに繋がり、また「はてなのデザイン」を有効活用していただき、研究目標の達成と評価のアップに繋がることを期待したいです。

## 評価書案全体への意見（並木委員）

- 事務局案で良いと思います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、大学に通学出来ない学生が全国で大勢いる中長岡造形大学では緩和措置を取られ、学生の皆さんも喜ばれているとのこと。今後授業だけでなく、就職活動等今までにない状況下での学生指導になるかと思いますが学生の立場に寄り添って対応いただければと思います。

## 評価書案全体への意見（榎委員）

- 評価は妥当であると考えます。
- 事業単位の評価結果のb評価は限りなくa評価に近いと思います。NIDの特色を生かした教育内容と、学生が地域社会と交流することで育まれる実践的な修学の場づくりは素晴らしい成果と考えます。自由闊達な学生達を見ていると、良い校風になって来たように感じます。正に、デザイン学を通じて社会的課題を解決するような学生を育ててください。